

日本語支援システムの構築に向けて

—SUAC日本語教員養成課程の展望と可能性から—

2011/1/29 広瀬英史

現状

- △ 外国人集住都市会議
 - △ ⇒ [浜松宣言及び提言](#)
- △ 多文化共生センター
- △ 外国人市民共生審議会
- △ 外国人就労関係研究会
- △ 多言語化の取り組み
- △ 外国人の子どもへの支援
- △ 外国人への日本語教育等の支援

(浜松市の多文化共生施策)

2

役割

- ④ 多文化共生社会の実現に向けて、地域活動を支援していく
- ④ 多文化共生の視点から日本語教育の指導体制を拡充していく



浜松宣言及び提言への大学として協力

- ・「地域共生」についての浜松宣言
- ・外国人住民に係わる「教育」についての提言

3

本課程の目的

- (1) 「草の根レベル」の日本語教員育成
- (2) 社会的要請に応える人材育成
- (3) 将来的に外国人児童を支援できる人材育成



修了証

「地域及び海外での多文化共生社会に貢献できる優秀な日本語教員」の証明

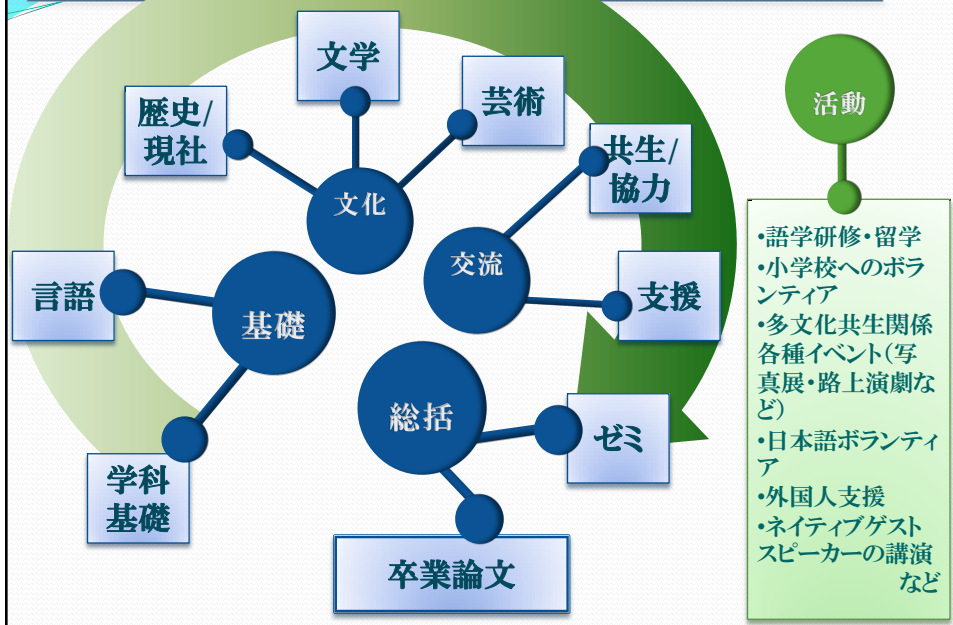
4

SUACの日本語教員養成課程の特徴

- ④ 多文化共生を重視した日本語教員養成課程
- ④ 地域、学校、外国人学校、企業での日本語教育
 - 一般成人、子どもと幅広い学習者を対象としている
- ④ 本学における実習(計画中)
 - ブラジル人学校との協力

5

カリキュラムの体系




日本語教員養成課程 カリキュラム(一部)

区分	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期	3年前期	3年後期	4年前期	4年後期
学科基礎	日文化人文学 2 国際関係論 2	①日本列島社会論 2 ②グローバル論 2	③国際文化基礎論Ⅱ 2					
地域実習			英語上級Ⅰ・Ⅱ ④外国語Ⅰ・Ⅱ ⑤外国語Ⅱ・Ⅲ ⑥外国語Ⅲ・Ⅳ ⑦外国語Ⅳ・Ⅴ ⑧外国語Ⅴ・Ⅵ ⑨外国語Ⅶ・Ⅷ ⑩外国語Ⅷ・Ⅸ ⑪外国語Ⅸ・Ⅹ ⑫外国語Ⅹ・Ⅺ ⑬外国語Ⅺ・Ⅻ	英語上級Ⅲ・Ⅳ ④外国語Ⅲ・Ⅳ ⑤外国語Ⅳ・Ⅴ ⑥外国語Ⅴ・Ⅵ ⑦外国語Ⅵ・Ⅶ ⑧外国語Ⅶ・Ⅷ ⑨外国語Ⅷ・Ⅸ ⑩外国語Ⅸ・Ⅺ ⑪外国語Ⅺ・Ⅻ	①文化語学Ⅰ ②文化語学Ⅱ ③文化語学Ⅲ	①文化語学Ⅳ ②文化語学Ⅴ ③文化語学Ⅵ		
国際文化入門		国際文化入門Ⅰ 2 国際文化入門Ⅱ 2 国際文化入門Ⅲ 2						
日本文化系		日本文学史 2 現代日本文学概論 2	史料の調査と探検 2 日本文学Ⅰ 2 日本文学Ⅱ 2 日本文学Ⅲ 2 日本文学Ⅳ 2	日本文学作品研究 2 日本文学Ⅴ 2 日本文学Ⅵ 2 日本文学Ⅶ 2 日本文学Ⅷ 2	美術史(日本・東洋)Ⅰ 2 美術史Ⅱ 2	美術史(日本・東洋)Ⅱ 2		
東アジア文化系			東洋アジアの文化と社会Ⅰ 2 中国経済論 2 中国の文化と社会 2 韓国文化論 2	東洋アジアの文化と社会Ⅱ 2 アジアビジネス論 2 中国古典学 2	現代の東南アジア 2			
地中海文化系			イタリヤ文化史 2 フランス文化論 2 近現代の中国Ⅰ 2 近現代の中国Ⅱ 2	ルネッサンス文化史 2 近現代の中国Ⅲ 2 近現代の中国Ⅳ 2 近現代の中国Ⅴ 2	美術史(西洋)Ⅰ 2 美術史(西洋)Ⅱ 2 美術史(西洋)Ⅲ 2 美術史(西洋)Ⅳ 2	美術史(西洋)Ⅳ 2		
国際・北米文化系		国際・北米文化論 2	西欧近現代史 2 イギリス文化論 2 日本文学概論Ⅰ 2 日本文学概論Ⅱ 2	西欧・北米の歴史 2 北米の歴史と社会 2 日本文学概論Ⅲ 2 日本文学概論Ⅳ 2	音楽Ⅰ 2 音楽Ⅱ 2 音楽Ⅲ 2 音楽Ⅳ 2	音楽Ⅴ 2 音楽Ⅵ 2		
総合文化系		総合文化システム 2 日英対照言語学 2	国際学概論Ⅰ 2 文化交流論 2 グローバル文化論 2 日本語音声学 2 日本語文法論Ⅰ 2 日本語文法論Ⅱ 2 日本語習得論Ⅰ 2	国際学概論Ⅱ 2 国際学概論Ⅲ 2 国際学概論Ⅳ 2 国際学概論Ⅴ 2 国際学概論Ⅵ 2 国際学概論Ⅶ 2 国際学概論Ⅷ 2 国際学概論Ⅷ 2 国際学概論Ⅸ 2 国際学概論Ⅹ 2 国際学概論Ⅹ 2 国際学概論Ⅺ 2 国際学概論Ⅻ 2	①日本語教育Ⅰ ②日本語教育Ⅱ ③日本語教育Ⅲ ④日本語教育Ⅳ ⑤日本語教育Ⅴ ⑥日本語教育Ⅵ ⑦日本語教育Ⅶ ⑧日本語教育Ⅷ ⑨日本語教育Ⅷ ⑩日本語教育Ⅸ ⑪日本語教育Ⅹ ⑫日本語教育Ⅹ ⑬日本語教育Ⅺ ⑭日本語教育Ⅻ	日本語教育Ⅺ 2 日本語教育Ⅻ 2		
卒業研究							国際文化実習Ⅱ 2 卒業論文 4	

カリキュラムの特色 —コンセプト(1)—


- ④ 県内と県外の状況
 - 現在の状況を可能な限りリアルタイムに
 - 国レベル、地方レベル、そして、地域住民レベルの取り組み
 - 政策面、教育面、支援面、コミュニティー面、そして日本語教育面等から
 - 各視点の歴史的背景



カリキュラムの特色 —コンセプト(2)—

- 4 大人と子供
 - 外国人のおかれた状況を多面的(教育、地域政策など)に観察
 - 支援内容の違い
 - 日本語教育方法の違い

9



カリキュラムの特色 —コンセプト(3)—

- 4 地域社会のボランティア活動の諸相
 - 具体的事例の紹介
 - 参加型ワークショップ
 - 実践、実習

10



将来構想1

- ④ (1) 「多文化共生」「地域共生」の支援
サークル(学生による)
 - ⇒地域共生のための支援、日本語支援、学
習支援、進学支援、芸術を中心とした交流

11

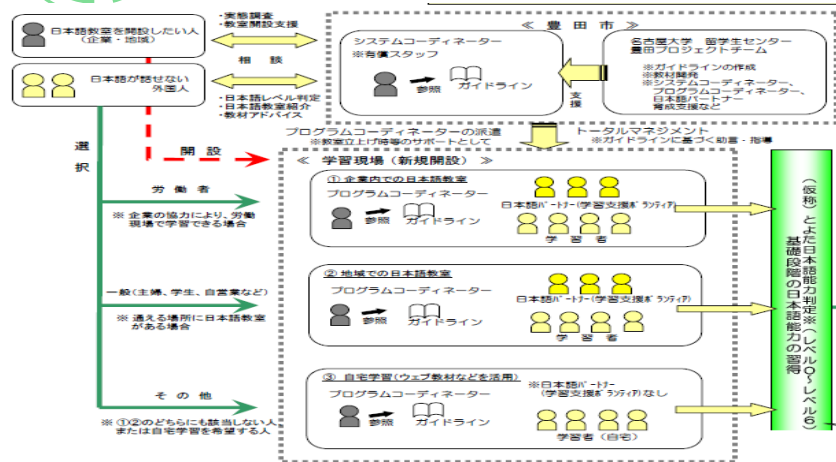


将来構想2

- ④ (2) 日本語支援、学習支援のシステムを
整備
 - ⇒学生が運営できるシステム(ソフト面とハー
ド面の両方)を構築する

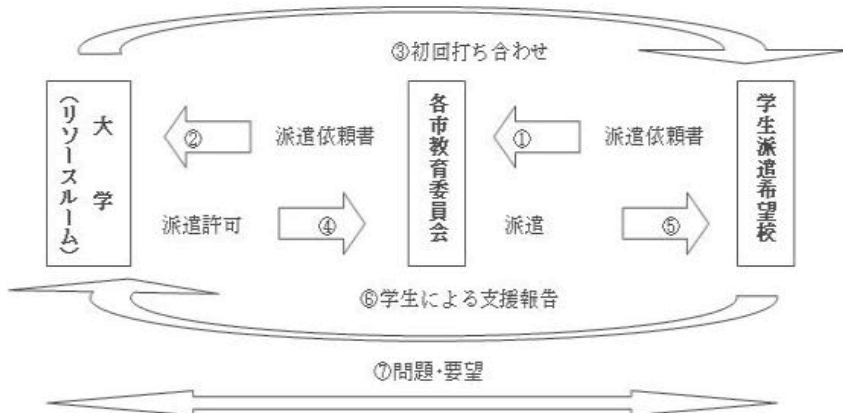
12

とよた日本語学習支援システム



名古屋大学とよた日本語学習支援システムHPより加工

愛知教育大学リソースルーム

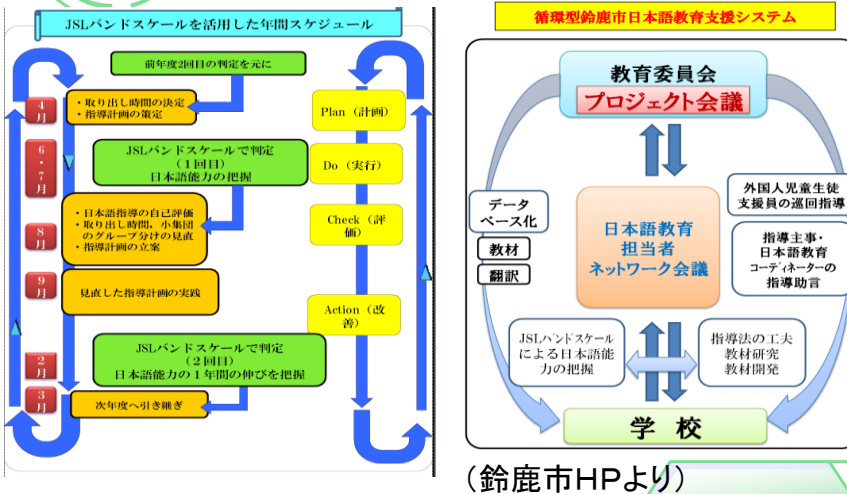


(HPより)

将来構想3

- ㊦ (3) 教員経験者などから知識を供与する体制を整備
- ㊦ (4) 市や県レベルの日本語支援システム
 - ⇒日本語コーディネーター(小中学校教員)

鈴鹿市



遠州浜小学校のシステム

- △ 外国人指導加配 2人 適応教室2学級設置
- △ 常勤 外国人指導支援員 1人
- △ 外国人就学サポーター ポ語(週5日4時間1人)
- △ 外国人就学サポーター 中語(週2日4時間1人)
- △ 外国人就学サポーター ス語(週1日4時間1人)
- △ 時間割の工夫
- △ 保護者会開催(学習参観会・進路説明会等)
- △ NPOとの協働(放課後教室の実施)

(遠州浜小学校資料より)

17

課題

- △ 小規模である本学でできることとできないことの見極め
- △ 県や市との協働
- △ HICEやNPOとの棲み分けと協力態勢の構築
- △ ブラジル人学校の生徒達の進路確保

18